



本の中から広がる世界

An illustration of a father and his young daughter swimming in the ocean. The father is holding a book and reading to his daughter. The daughter is smiling and looking at the book. There are clouds above them.



往復二十キロ、長い坂道ばかりにして、自転車で二時間はかかる道のりです。父が出发してから「お父さんはまだ：？」と聞く間隔がだんだん短くなり、うわ言のように父を呼び続けるのです。

父は、危篤状態だった妹のために、墓にもすがる思いで日頃、信仰する御大師様に参りに行こうと、妹の枕元で「お父さんは今から御大師様に参つてくるから帰つてくるまで死んだらいかんよ」と、うと「うん、うん」と頷いていました。

往復二十キロ、長い坂道があつたりして、自転車で二時間はかかる道のりです。父を出発してから「お父さんはまだ…?」と聞く間隔がだんだん短くなり、うわ言のように父を呼び続けるのです。

図書室で見つけた感動

あなたも探してみませんか、
公民館の図書室で…



今回は公民館の図書室を見つけた、ちょっと感動して本の一節を一方的に特集して見ました。いろんな考え方があるかもしれません、一つの参考としてお読み下さい。

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

ちよこと一言

(158)

写真と私

五十一歳 智子 さと

真について何の知識もなかつた
私にとつて、フィルムの現像から
ラープリントまで全て自分の手で
行うということは、とても驚き
と感動の連続でした。

★何かに夢中

トマトもメロンも
それぞれに自分の命を
百点満点に生きてるん



恥をさらす練習です

道楽という言葉があるが趣味とはしょせん道楽なのだ。まず、楽しめるということが何より大切なのだ。したがつて何か趣味を持とうなどと考えるよりも、何でもいいから自分が楽しめることをやればいいのです。



※親は、子どもの一生涯を見
守つてはやれない、自分で生
きる力をつけさせることで
す。

A cartoon illustration of a person with large, round glasses and a striped shirt. The person has a wide-eyed, surprised expression with hands on hips.



「失敗や負ける練習をたっぷりさせて負けに強い人間、失敗に強い人間に育ててやることが、子どもの一生を通して幸せなのではないか」と言うのです。

人は、多くの人々との出会いをくり返しながら生きていくものですから。

ようは自分を楽しませる
ことができる心の持ちようだ
といえよう。

人は子どものときは自然に
遊べたはずである。子どもの
頃の「夢」があなたの胸の奥
に眠っているんじやないか。
※ちなみに、子どもの頃に好
きだった釣り、ジャバラのカ
メラ、山の遠足。

定年になつて今はこんなこ
とに夢中です。

／＼☆＼＼

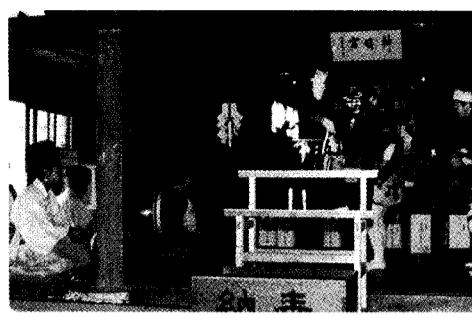
どうぞ折を見て図書室を覗
いてみませんか。きっと、あ
なたにお気に入りの一冊が見
つかるかもしれません。

心あたたまる 地域の伝統行事を紹介

大切に受け継がれている

鎌倉新田の神楽舞

約二百年の伝統を持つ鎌倉新田地区の「神楽舞」が、春祭りの、宵宮の四月十八日から本祭りの十九日の二日間披露されました。



無病息災の願いを込めて



囁んでもらって悪病退散

資料によると鎌倉の神楽舞は昔、小須戸町付近にコロリ病(コレラ)が流行したことがあり、そのころ信州から神樂舞がよく廻ってきたもので、鎌倉の人達は悪病退治のため神明宮の春祭に舞つたそうです。その後、コレラにかかる者がなくなつたので、村では年に「かぐら」を譲つてもらいました。そこで、村では毎年悪病よけのために神楽舞をやることにしたのが起これだといわれています。(この風土記)柏大治著を参照)

本祭りの当日、神明宮の拝殿の中で、見物人三十名余りを前にして「神楽」「獅子舞」「鼻天狗」、「鯛釣」、「恵比須大黒」の五曲の舞が笛と太鼓の音に合せて次々と披露されました。孫を連れて見に来られた、地元のおばさんに神楽舞についての感想をお聞きしたところ、「今後もずっと続けてもらいたいです。そして将来孫も舞い手の人として仲間にしてもらいたい」と、話され

ました。

また、息子さんが神楽舞に出演されたおばあさんにも、お話を聞きました。「一年増しに上手になってきてね。親の私でも、びっくりしました」と、嬉しそうに話して下さいました。

ところで、お母さんやおばあさんに連れられてきたまだ四・五歳の子ども達が、きちんと正座をして、舞を興味深そうに見ている様子には驚きました。

将来は、きっとこの子たちの中に、この軽快なりズムを奏で勇ましく舞う鎌倉の神楽舞を引き継ぐ者が出てくることを期待しながら神明宮を後にしました。

第十九回小須戸町近郷 バドミントン大会

去る四月二十二日(日)に新潟市親睦にて開催されました。

上位入賞者は次の通りです。

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 一位 牧野敬一さん(本町四) | 四月二十九日(日)に小須戸町民体育館で開催されました。 |
| 二位 高山善治さん(新保二) | 男子団体戦 |
| 三位 加藤政男さん(諏訪町二) | 一位 バグースA(横越町) |
| 大物賞 川瀬裕英さん(天ヶ沢) | 二位 なまらねA(小須戸町) |

参加者募集

◎第八回小須戸町 ダブルステニス大会

日時 五月二十七日(日)

会場 小須戸町スポーツ公園

種目 男女ダブルス
混合ダブルス

参加費 一種目一千円(協会員無料)
二種目五千円(協会員無料)
(各一名分)

申込先 公民館又はスポーツクラブ所属者
申込締切 五月二十四日(木)

主催 小須戸町テニス協会

図書だより <新刊案内>

※雨天の場合はご持参下さい。
申込み受付・問い合わせ先
五月十八日(金)~二十四日(木)
(025-372-2924)

朝の出会いで心をつなぐ 矢代田小学校 「今、子どもたちは」(57)

新潟大学法律相談部では、部員の勉学を通じて蓄積された知識を市民の皆様の一助となすことを目的に、無料法律相談会を行っております。

●電話受付(要予約)
日時 五月二十七日(日)~二十八日(月)
午後一時~午後七時
内容 事件(賃貸借、土地
関係、離婚、相続など)
係争中の事件を除く民
事事件(賃貸借、土地
関係、離婚、相続など)

●相談会開催日
日時 六月十日(日)
午前十時~午後五時まで
会場 新潟大学五十嵐キャン
パス 法文棟
問い合わせ先 025-262-8398
後藤由佳まで



お悔やみ

四月十四日、前中央公民館長の阿達昭五さんが、七十歳でご逝去されました。

故阿達氏は、平成五年七月一日より平成十一年九月三十日にわたり幼稚園長並びに中央公民館長の職を勤められました。

その間、幼児教育や、社会教育の振興に大きく貢献されました。

ここに慎んで、ご冥福をお祈りいたします。

雲一桑影を重ねて鳥帰る 田中美根子

日はすでに敵の片側春の霜 中野太郎

鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせらぎはもう春の音ひびかせて 佐久間久子

花種を夫婦相和し蒔きにけり 五十嵐香月

燕来る飴の看板老舗かな 高橋みどり

錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

人の和がとどこおりなく春総会 田沢ひろし

手をつなぐ黄色帽子や風薫る 安達キヨノ

醉客の口数増える花吹雪 我妻清作

みやげ増し財布は軽く旅終る 増井都留

増えたっていいじゃないかと笑い皺 高橋ただし

藤井春江

俳 錦鯉津和野殿町めぐりけり 牧野信雄

句 鳥帰る河の蛇行にこだはらず 丸山虚秋

せせ